



認定長期優良住宅100棟達成

エヌ・シー・エヌ

エヌ・シー・エヌ（東京都、田鎖郁男社長）のSE構法登録施工店による「認定長期優良住宅」が1000棟を達成した。

同社はSE構法の理念である「資産価値のある家づくり」に向け09年から施行された長期優良住宅に積極的に取り組んできた。その結果、先導的モデル事業に3年連続で採択さ

れるなどし、SE構法による認定長期優良住宅が今年8月末で1084棟になった。

長期優良住宅の認定累計は7月までに19万5630戸で、このうち9割が大手と言われている。工務店物件の5〜10%がSE構法によるものとみられる。

同社は09年4月に業界に先駆けて「長期優良住宅支援室」を新設して手続きや書類作成などを支援できる体制を構築した。1084棟の内、716棟の約7割がサポートを受けている。

SE構法の登録施工店では、長期優良住宅を標準仕様化しているところが増えており、認定支援サポートを受けていた工務店も自社で申請を行えるようになってきている。